

第16期 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

I 事業報告

1 事業経過及び概況

石ノ森萬画館は、平成23年3月11日の東日本大震災による被災から5年、リニューアルオープンからは3年が経過いたしました。周囲の街の姿も少しずつ見えるようになってまいりました。中心市街地の復興も進んでおり、市街地再開発事業や土地区画整理事業等で、立町地区、中央地区を中心として7棟の復興関連住宅が建設整備されております。また石巻駅前には新市立病院が9月1日の診療開始を目標に工事が進められております。昨年の5月30日には市民待望の仙石東北ラインの開通に石巻圏域も大きく湧き、交流人口の増加が期待されております。また北上川沿いに建てられる「生鮮マーケット」や「かわまち拠点としての交流施設」も計画され、マーケットの受け皿となる新会社「株式会社元気いしのまき」が設立されると共に建設の準備が始まりました。また「優良建築物等整備事業」を活用して建設した「COMICHI石巻」に続き、優建による複合ビルの建設も計画されております。

一方、街づくりまんぼうに係わる観光面では、石ノ森萬画館リニューアルオープンから3年目と言う事もあり当初から入館者の減少が懸念されておりました。その状況に対応すべくアニメソングのライブや声優によるトークショー、劇団による公演等、多岐にわたるイベントを行い、また企画展ではスタジオジブリの企画展示、連動したミニコンサート等を行い来館者の増加につなげました。石巻らしいお土産を作ろうと地元のお店とコラボして「石巻カレー全集」を開発しました。7月19日に1～5巻を販売したところ大きな反響があり、現在では第8巻まで販売をしております。

昨年3月8日には石ノ森萬画館の総入館者数が250万人に達し、本年3月末時点で約270万人となっております。なお27年度の総入館者数は179,814名で前年度(170,144人)の約5.7%増となりました。

A種類株式の資金活用により「橋通りCOMMON」の事業展開も活発化し、復興まちづくり情報交流館中央館との相乗効果で、街中賑わいのスポットを創り出すことが出来ました。復興情報マンガ誌「マンガタン」も第8巻を出版するに至り、県内の学校や図書館等にも配布を行いました。

コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会の事務局としても「にぎわい創出プロジェクト」「空地活用プロジェクト」「防災プロジェクト」等の取り組みを通して街づくりビジョンの実現に貢献をしてまいりました。

以上で第16期(平成27年度)の事業経過及び概況の報告といたします。

2 各事業の概況

【販促事業部】

(1) グッズショップ 墨汁一滴

- ・平成 27 年度は新商品として 10 アイテムのオリジナルマンガグッズを開発した。
- ・人気の商品や価格等の市場リサーチを強化し、お客様のニーズに合う商品構成及び価格設定とすべく心掛けた。また少ない製造ロット数で制作できる商品や仕入価格を抑えられる商品を開拓し利益率を上げることを意識した。
- ・石ノ森萬画館の企画展にあわせた関連商品を販売し、企画展目当てで来館するお客様にも商品を提供する事ができた。またあまり市場に出回っていないレアな商品を揃えてお客様に目新しい感覚を与え、売上につなげることができた。
- ・6 月から「Amazon」、12 月から「楽天市場」といった大手通販サイトに出店し、通販による売上増加を試みたところ、2 店合わせて 35 万円ほどの売上だった。
- ・平成 26 年 9 月 1 日より参入している「石巻ふるさと納税」にも継続して取り組んだ。巻ティグッズ（石巻×ハローキティ）、西陣織ネクタイ（仮面ライダー×京や呉服店）、石巻カレー全集などの石巻らしい商品を揃え、53 件 176,000 円の申し込みを受けた。
- ・平成 27 年度は店頭販売、通信販売、外販を合わせて 87,036,646 円の売上（対前年 105%）だった。

(2) 喫茶 ブルーゾーン

- ・店内を改装に伴い据え付けになっていたテーブルを取り払って可動式のテーブルを設置した。座席数が増え、お客様が自由に移動して利用できるようにもなり効率的に営業ができるようになった。また壁面に展示ケースを配置してフィギュアなどを装飾したところ、展示物に見入ったり写真を撮るなど、より一層楽しみながらお食事をしていただけるようになった。
- ・石ノ森萬画館の企画展に合わせて期間限定のメニューを開発した。特に開田祐治展に合わせて行ったウルトラマンのメニューはお子様から年配の方まで幅広い層に好評を得て販売数を伸ばすことができた。これらのメニューは新聞や雑誌等でも多数紹介され、当館のコラボメニューの存在を周知できた。
- ・「橋通り COMMON との連動メニュー」「イベント限定メニュー」など特別感のあるメニューを販売した。ファンの方からの要望で過去のメニューを期間限定で復活させたところ、すぐに完売するほどの好評ぶりだった。
- ・売上が落ち込む閑散期に価格を抑えたサイドメニュー（ミニサンデー、エスプレッソなど）を販売してみた。お食事と一緒に注文する方もいて微量ながら売上増につながった。
- ・平成 27 年度の売上高は 13,266,315 円（昨年比 105%）だった。

(3) 海斗プロジェクト

- ・仙石線開通イベント、石ノ森萬画館開館 14 周年イベント、楽天イーグルス（コボスタ宮城）、スーパーアニソン魂（ZEPP 東京）など県内外のイベントに積極的に出演し、石巻のPR活動と売上の確保に努めた。11 月には千葉県蘇我市で行われた「日本ローカルヒーロー祭り」に水上バイクで登場したところたいへんな話題になり SNS 等で広く拡散された。
- ・春の交通安全週間にあたり一日石巻警察署長を務め、交通安全の啓蒙に一役かった。
- ・平成 25 年の萬画館リニューアルオープンから萬画館で限定上映をしている実写版「シージェッター海斗 特別編」の劇中主題歌「たたかえ!!シージェッター海斗」（歌：水木一郎）のCDを7月19日から発売した。CDの発売にあたりカップリング曲「まほろばの群青」（作詞：遠藤正明、作曲・歌：水木一郎）を新たに制作しCDに収録した。以来、水木一郎さんはライブがあるたびに海斗の歌を歌ってくれている。

【街づくり事業部】

(1) コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

- ・昨年度と同様、東北大学、東北学院大学、みらいサポート石巻から人的支援を得て事務局運営を行っている。
- ・「多団体による協議の場」を念頭に平成 25 年 3 月に作成した「まちなか復興ビジョン」の普及・推進を目指し、再開発事業の推進や各プロジェクトの仕掛け、調整及び情報発信を行った。
- ・再開発事業の推進については、各事業完了後の中心市街地全体の魅力創造に向け、再開発事業を契機に設立された（一部予定）5 街区 5 社との連絡会を実施し、まちづくり会社の運営上の課題や今後の運営方針に関する情報共有・意見交換を行った。
- ・生鮮マーケット（仮称）、石巻商工会議所、地元金融機関など主要施設の整備が計画されている「川沿い地区」について、それぞれの進捗状況とまちづくりの方向性を示す計画案（東北大学災害科学国際研究所にて作成）について共有する「中央二丁目 11 番地区における主要施設の計画に関する情報共有会」を開催した。
- ・「賑わい創出プロジェクト」の取り組みとして、これまでにまちづくりのビジョン作成を支援した 2 商店街（中央一大通り商店街、立町大通り商店街）に対し引き続き専門家を派遣して街並みづくり等に向けた検討を深めた他、ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みとして、空き地活用プロジェクト（まちかぐ・ポケットパーク）を実施した。
- ・「防災プロジェクト」の取り組みとして、石巻市防災週間（3/5-11）の期間中に「まちなか防さいの会」を開催した。住民、商店主、小学校や施設関係者等の参加者からそれぞれの防災の取り組みを共有してもらい、新たに整備された津波避難ビルの位置や昇り口などを確認した。
- ・上記関連会議に加え、再開発事業関連や各種会議など地域住民のまちづくりに関する打ち合わせ会場としてまちカフェの貸し出しも行った。

※コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会の事務局は、平成 28 年 4 月 19 日より「ボックスピア・ホシノ」から「まんがる堂（石巻市中央二丁目 5-7）」に移転しました。

(2) 橋通りCOMMON

- ・空き地の利活用による賑わい創出、事業者育成を目的とした「橋通りCOMMON」事業を進めた。平成27年4月25日にグランドオープンを迎え、平成28年3月末日時点で飲食店5店舗、貸しギャラリー1店舗が営業している。
- ・7月に石ノ森萬画館との連携企画「サイボーグ009 グルメツアー」を開催したほか、8月にはトリコロレ音楽祭など他団体主催のイベントの会場としてなど、飲食営業のみならず中心市街地活性化に向けた拠点として活発に利用された。集客が伸び悩む秋・冬期には、店主等による企画イベントを毎月開催し集客に努めるなどし、平成28年3月末日までに約23,000人の来場者を得ることができた。
- ・平成28年3月には石巻カレー全集第2弾として、「焼鳥おのでら」「鉄板ですWHITE」「OSPITALITA DA HORI-NO」の3店舗の監修によるレトルトカレーの発売を開始し、発表イベントには制作に協力いただいた漫画家・声優が駆けつけてくれた。

(3) 石巻市復興まちづくり情報交流館 中央館

- ・平成27年3月7日(土)にオープンした「石巻市復興まちづくり情報交流館」を平成27年度も継続して運営を行った。リチャード館長をはじめとする常勤スタッフと石巻観光ボランティア協会様の協力をいただきながら独自のガイドを行い、施設の利活用促進に努めている。
- ・平成28年3月31日末時点での総来館者数は20,238名。来館者の内訳は、石巻市内が3,186人(15.7%)、市外が17,052人(84.3%)だった。お客様のほとんどは震災について興味を持ちスタッフの話に熱心に耳を傾ける方が多かった。市県外別内訳として東京都が一番多く、仙台市、神奈川県、宮城県内(仙台・石巻以外)、埼玉県と続く。
- ・海外からの来場者数の内訳として多い順では、アメリカ、ハワイ、フランス、イギリス、台湾となっており971名来場されている。
- ・グループ、団体としては、234団体、3,821名を受け入れた。
- ・閉館後～21時まで施設内フリースペースを貸出しており、市内NPO団体など15件の利用があった。
- ・来館された方が館内のフリーボードへ石巻への思いなどメッセージを残しており、中には石巻に来られたプロスポーツ選手や芸能関係者、マンガ家など著名人のメッセージも数多く残っている。メッセージはデータ保存している。

(4) マンガを使った街づくり推進事業(「萬画×石巻 まんがる堂」運営)

- ・萬画と地場産品のコラボレーションによる新商品の開発・販売及び地場産品のブランディング化を促進し、さらに市街地の新たな回遊拠点として中心市街地の賑わいを創出することを目的として平成25年11月2日にオープンした。
- ・1階ではマンガグッズ及び石巻の地場産品等の販売を行う他、マンガと地元店舗とのコラボ商品の開発を行った。平成27年度は地元の飲食店及び橋通りCOMMON出店店舗とコラボし「石巻カレー全集(全8巻)」の開発・販売を行った。
- ・2階オープンギャラリーでは、写真家の田頭真理子さんによるワークショップ、「フォトノマキフェスティバル2015」の入賞作品の写真展を行った。
- ・萬画館と連携したスタンプラリーや商店街と連携した「金華開運商店街セール」など他機関と連携した企画にも積極的に参加し、来街者の市街地回遊を促進した。

(5) トリコロレ音楽祭 2015 (8月23日開催)

- ・今年で開催12年目を迎えた当音楽祭では「音楽」と「復興」が調和して一体となるような音楽祭にとの思いから「Re-Harmonize」をテーマに出演団体148団体、演奏者数720名、演奏会場14会場と過去最大規模での開催となった。
- ・明朝からのあいにくの天気も昼過ぎには回復し、県内はもちろんの事、全国から出演者、来場者が集まり約6,500人もの来場があった。

【総務部】

(1) まんぼう会員事業

- ・まんぼう会員に加入している飲食・物販店を紹介する「まんぼうマップ」を5万部発行。平成27年度から震災以前と同様にマップ内に有料掲載枠を設け、市街地へ訪れる方々の視点に立ち、各種情報を集約する事で利便性の向上と回遊促進に努めた。
- ・平成27年度(平成28年3月末)時点のまんぼう会員数は49店舗(平成26年度は47店舗)で昨年より微増となった。

(2) 駐車券販売事業

- ・共通駐車券利用可能駐車場は10ヶ所と昨年と変化はないが、石巻駅周辺店舗での共通駐車券利用数が増加した事により、本年度の取扱枚数は90,040枚と過去最多の取扱数だった昨年に比べて105%となった。

(3) 「マンガを活かしたまちづくり」復興促進事業

- ・マンガを活用した復興への取り組みの一つとして、マンガで「震災の記憶を残し伝えていく」「被災地の渦中にいる人たちに希望を与える」ことをテーマに、たくさんの漫画家の先生たちの協力のもと、石巻からのコミック&復興情報マガジン「マンガッタン」を発行。平成27年度は「マンガッタンVol. 8」を発行した。
- ・石ノ森作品と地元企業のコラボ商品を開発する事業として、平成27年度は「仮面ライダーずんだ饅頭(大沼製菓)」「ダイヤモンドクッキー(アンジェリーナ)」「仮面ライダー西陣織ネクタイ(京や呉服店)」の開発・販売を行った。
- ・「マンガ・アニメを活かした石巻の広報展開と交流人口の増加に寄与することを目的として、マンガやアニメを活かしたイベントを開催した。
 - *5月31日で運行終了となった石巻線マンガッタンライナーのさようならイベントとして、JR東日本様と共同で「アニソン列車と石ノ森萬画館の旅」を実施した。
 - *第一線で活躍する声優の方々の協力をいただき、地元で声優を目指す子どもたちを対象としたアフレコ体験教室、石巻への来街者の増加を目的とした声優イベントを行った。
- ・仙石線全線開通に備えて「マンガッタンライナーⅠ」「マンガッタンライナーⅡ」の内外装の点検を行い補修した。また列車内に石ノ森キャラクターをデザインした装飾を施した。

【石ノ森萬画館運営事業部】

平成 27 年度は総来館者数 179,814 人（対前年 105.7%）、有料観覧者数 89,424 人（対前年 103.3%）となり、昨年度より若干だが増加した。震災から 5 年が経過して時間の経過とともに被災地離れが進んではいるものの、今もなお全国からたくさんの温かい御支援をいただいております、その支援者の方々への感謝の気持ちを忘れることなく、ボランティアや来館者の方々へのおもてなしを心掛けた。また「復興支援」をきっかけに、これまで交流がなかった漫画家の先生やアーティストの方々など、たくさんの方々との“つながり”が増えたことから、そのつながりを活かし、新たなファン層の開拓に努めてきた。

石ノ森萬画館の知名度はある程度あがってきているが集客に結び付けられておらず、来館するきっかけとして数多くのイベントを開催した。

（1）主な実施イベント

① 声優チャリティイベント in 石ノ森萬画館（4 月 19 日開催）

人気声優の田中敦子さん（「攻殻機動隊」草薙素子役）、福島央俐音さんをお迎えしてトーク & 朗読ライブを行った。参加者 152 名。

② 「春のマンガタン祭り」（5 月 3～5 日開催）

GWに毎年恒例で開催しているイベントで、今年は 11,247 名（5/3～5）の来場者があり、館内外ともに大きな賑わいを見せた。

③ 遠藤正明ファンツアー2015（5 月 16～17 日開催）

いしのまき観光大使を務める石巻出身のアニソン歌手・遠藤正明さんのファンツアー。石巻の現状を直に見ていただくことと観光振興を目的として開催。当日は全国各地から 132 名の方々が参加して、石ノ森萬画館や市内各地を見学した。また二日目には団体列車を運行して女川まで足を運んだ。

④ おかえりなさい！仙石線マンガタンライナー（5 月 30 日開催）

仙石線全線開通と仙石東北ラインの開通を記念して、石巻市をあげてイベントを行った。石ノ森萬画館では仙石線マンガタンライナーの開通に伴うイベントを担当し、アニソン歌手の水木一郎さん、遠藤正明さんをお招きして開通セレモニー、全国から参加を募ったコスプレイベントを実施しイベントを盛り上げた。また石ノ森萬画館でもアニソンライブや海斗ショーなどのイベントを行った。

⑤ さようなら・・・石巻線マンガタンライナー（5 月 31 日開催）

5 月 31 日で運行終了となった石巻線マンガタンライナーのさようならイベントとして JR 東日本様と「石巻線マンガタンライナーで行く！石ノ森萬画館の旅」を企画。100 人の募集に対し 3 日間で完売した。列車内では海斗ショーや石巻出身のアニソン歌手・遠藤正明さんのミニライブなどを行った。JR 様からの評価も高く今後も継続していきたいと思っている。

⑥ 開田裕治トークショー&サイン会 (6月20日・21日開催)

萬画館で開催中の開田裕治原画展の連動イベントとしてトークショーとサイン会を開催。トークショーでは50名の募集に対し108名の応募があり、開田先生の人気の高さがうかがえた。トークショーにできなかった方にはサイン会に参加いただいた。

⑦ 石ノ森萬画館開館14周年記念マンガタンフェスティバル (7月19日・20日開催)

2001年7月23日に開館した石ノ森萬画館の14周年を記念して開催。仙石線・仙石東北ライン開通記念事業・いしのまき出発祭との同時開催として行った。

シージェッター海斗ショー、サイボーグフォトコーナー、ミャーガノイド水合戦、各種ワークショップなどを行った。出発祭では水木一郎、堀江美津子、遠藤正明のアニソンライブが行われ、出発祭では全国各地のご当地グルメ8団体が中瀬に集結した。

⑧ 声優チャリティイベント in 石ノ森萬画館 (8月1日開催)

人気声優のTARAKOさん(「ちびまる子ちゃん」さくらももこ役)、渡辺菜生子さん(「ちびまる子ちゃん」穂波たまえ役)、佐々木優子さん(「ちびまる子ちゃん」さくらこたけ役)をお招きしてのトーク&朗読ライブ。石ノ森萬画館映像ホールで2回公演し計77人が参加。

⑨ 劇団 球 石巻公演「ReBirth」(8月29~30日開催)

仮面ライダーBLACKヒロイン紀田克美役の田口萌さんが主宰する劇団球のご厚意により、2日間で計6回の公演を行った。

⑩ 秋のマンガタン祭り (9月19~23日開催)

シルバーウィーク期間に合わせて、石巻プレイパーク、たい焼きプロジェクトに協力をいただき開催した。各種ワークショップ、昔のおもちゃで遊ぼう、喫茶店では期間限定メニューの提供などを行った。

⑪ NHKラジオ「今日是一日“特撮ソング三昧”」公開生放送 (9月27日開催)

NHKラジオ「今日是一日特撮ソング三昧」の公開生放送を、石ノ森萬画館企画展示室から行った。午後0時15分から午後10時30分という10時間に及ぶ生放送。作曲家の渡辺宙明さん、アニメ監督の出淵裕さんなど豪華ゲストを迎えてお送りした。

⑫ やっぺえ&ヒーロー祭り (9月26~27日開催)

“特撮ソング三昧”の開催に合わせて中瀬公園で開催。遠藤正明さん、宮内タカユキさん、石原慎一さんを迎えての特撮ソングライブ、ワンワンとあそぼうショー、やっぺえ!たいそうステージ、シージェッター海斗ショーなどでたくさんのお客様に楽しんでいただいた。

⑬ 近藤喜文展オープニングセレモニー (10月10日開催)

10月10日から翌4月10日まで開催する「この男がジブリを支えた 近藤喜文展」の開会を記念してセレモニーを行った。石巻市教育長、スタジオジブリ様、ミヤギテレビ様等にご出席いただいた。事前募集による招待者100名に囲まれて華々しくオープンを飾り、展覧会を盛り上げた。

⑭ マンガッタン文化祭 (11月3日開催)

マンガの日である11月3日に毎年開催。石ノ森先生が提唱した萬画宣言「マンガ=あらゆる事物を表現できる萬画(よろずが)であり、無限大の可能性を含むメディアである」をコンセプトに萬画館全館を使い「文化祭」のノリで様々なプログラムを実施した。

⑮ 声優チャリティイベント in 石ノ森萬画館 (11月22日開催)

人気声優の三石琴乃さん(「美少女戦士セーラームーン」月野うさぎ役、「新世紀エヴァンゲリオン」葛城ミサト役)、関智一さん(「ドラえもん」骨川スネ夫役、「妖怪ウォッチ」ウィスパー役)をお招きしてのトーク&朗読ライブ。アイトピアホールで開催し、156人が参加。

⑯ 声優チャリティイベント in 石ノ森萬画館 (1月9日開催)

人気声優の高山みなみさん(「魔女の宅急便」キキ役、「名探偵コナン」江戸川コナン役)、千葉一伸さん(「名探偵コナン」千葉刑事役)、米内佑希さん(「デュエルマスターズ ビクトリーV3」ゼツツー役)をお招きしてのトーク&朗読ライブ。石ノ森萬画館映像ホールで2回公演し、計100人が参加。

⑰ 本名陽子トークイベント (3月5日開催)

近藤喜文展の連動イベントとして、「耳をすませば」の主人公、月島雫役の本名陽子さんとスタジオジブリの田中プロデューサーをお招きしてのトークイベント。近藤喜文さんとの思い出や耳をすませばの制作にまつわるエピソードの他、サプライズで主題歌「カントリーロード」も披露していただいた。参加者135名。

⑱ マンガッタン感謝祭 (3月20~21日開催)

リニューアルオープン3周年を記念して、ご支援をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて毎年この時期に開催している。遠藤正明さん、佐咲紗花さんによるアニソンライブ、シーゲッター海斗ショーやワークショップなどを行った。20日には橋通りCOMMONで石巻カレー全集第二弾の発表会があり、マンガッタン感謝祭と連携したイベントが行われた。

(2) 展示活動（企画展示）

① 第 57 回特別企画展「開田裕治原画展～仮面と光のヒーローたち～」

（会期：平成 27 年 4 月 25 日～平成 27 年 6 月 21 日）

ゴジラ、ガメラ、仮面ライダー、ウルトラマンなど数多の特撮キャラクターを描く、稀代の怪獣絵師 開田裕治の原画展を開催。数多くの作品の中から「仮面ライダー」と「ウルトラマン」の作品を展示した。

連動企画として、石巻市街地 6 カ所に設置したウルトラ怪獣スタンプを集めると特製の缶バッジをプレゼントする「怪獣捕獲大作戦」や、3 階喫茶 BLUE ZONE にてウルトラ怪獣との「期間限定オリジナルコラボメニュー」を提供。見た目も楽しいユニークなメニューを考案し、好評を博した。

② 第 58 回特別企画展「[スタジオジブリ所蔵] メアリー・ブレア原画展」

（会期：平成 27 年 6 月 29 日～平成 27 年 9 月 23 日）

ディズニー・スタジオで活躍した女性アーティスト、メアリー・ブレアの原画展を開催。本展では、多数の作品の中から、スタジオジブリが所蔵する作品を中心に、「イツ・ア・スモールワールド」のコンセプトアート、絵本やコマースシャルアート、プライベート作品など 72 点をご紹介します。

連動企画として、展示期間中の毎週土・日・祝日の 11 時～15 時に限定ワークショップを開催。ぬりえや段ボール製の積み木を組み立ててメアリーの絵を完成させるブロック積み木など、メアリーの可愛らしい作品世界をアレンジしたり、記念撮影ができるワークショップが好評を博し、述べ 663 名が参加した。

③ 第 59 回特別企画展「この男がジブリを支えた 近藤喜文展」

（会期：平成 27 年 10 月 10 日～平成 28 年 4 月 10 日）

新潟県五泉市に生まれ育った日本屈指のアニメーター・近藤喜文の展覧会を開催。ジブリ作品の展覧会としては宮城県で初めての開催となる。「耳をすませば」公開 20 年を記念してスタジオジブリの全面協力を得て、アニメーションの原画やイメージボード、スケッチなど 500 点以上を展示し、高畑勲・宮崎駿両監督から厚く信頼を寄せられた近藤喜文が関わったアニメーションの仕事を振り返った。

連動企画として、石巻の街なかに「耳をすませば」のキャラクタースタンプ（全 6 種）を設置し、全部集めた方、先着 2000 名様に近藤喜文展開催記念クリアファイルをプレゼントする「耳をすませばスランプリ」や、3 階喫茶ブルーゾーンにて「近藤喜文展オリジナルコラボメニュー」を提供。また 3 階図書ライブラリーで行っているワークショップ「アニメにしよう！」の見本に近藤喜文監督作品「耳をすませば」の「ムーン」を会期中限定で追加し好評を博した。

(3) 教育普及活動

① ワークショップ

知識の習得や技術の向上を目的とした本格的なワークショップとして、大学教授や専門スタッフを講師に迎えて開催した。平成 27 年度は 2 回開催し、約 137 名が参加した。

ワークショップ名	講師	対象	開催日	参加人数
光のインテリア作り	水谷好成（宮城教育大学技術教育講座教授）	全年齢対象	11 月 28 日	37 名
光の箱	株式会社乃村工藝社	全年齢対象	12 月 12 日 ～13 日	約 100 名

② ワークショップ Professional

知識の習得や技術の向上を目的とした本格的なワークショップとして、プロの声優を講師に迎えて開催した。平成 27 年度は 2 回開催し、延べ 30 名が参加した。

ワークショップ名	講師	対象	開催日	参加人数
Professional 6 アフレコ声優教室	TARAKO 渡辺菜生子 佐々木優子	声優を目指す方	8 月 2 日	12 名
Professional 7 アフレコ声優教室	三石琴乃 福島央俐音	声優やマンガ・アニメ 業界を希望している 30 歳未満の方	11 月 21 日	18 名

③ オープンワークショップ

気軽にマンガにふれあっていただくことを目的に「マンガキーホルダー作り」「マンガ缶バッジ作り」「マンガストラップ作り」などの簡単な創作体験教室を実施した。

昨年度までは毎週土曜日のみ開催していたが、27 年度より毎日 13 時～15 時に開催した。

平成 27 年度の開催数は 367 回、参加者数総数は延べ 5,271 名だった。

また石ノ森萬画館のイベントやワークショップのメニューを記載したチラシ「マンガタン通信」を毎月 5,000 部発行し、石巻市と東松島市の幼稚園・保育所へ配布して告知を行った。チラシにはオープンワークショップが 1 回無料になるクーポン（1 枚で 2 名様まで利用可）を 1 枚付けており、延べ 206 名のクーポン利用があった。

④ マンガッタンイラストギャラリー

年間 4 回、季節毎にテーマを設けて作品を公募し、各回毎に大賞と優秀賞と佳作を選出した。さらに年度末には、平成 27 年度に応募のあった全作品 258 通の中から改めて「年間大賞」を選出し授賞式を開催した。

回数	季節	募集テーマ	作品数	大賞	優秀賞	佳作
第 39 回	春	SF・近未来	50	1	1	2
第 40 回	夏	アイドル	106	1	1	2
第 41 回	秋	ノスタルジック	39	1	該当者なし	2
第 42 回	冬	夢の世界	63	1	1	1

タイトル	作品数	大賞	優秀賞	ナリサワ賞	協立塗料賞
年間大賞	258	1	3	3	3

⑤ 博物館実習

8 月 10 日～16 日の期間、宮城学院女子大学より実習生 1 名を受け入れた。

(4) 営業・広報活動

- ・「萬画館の再開」「リニューアルオープン」をきっかけにテレビ局や出版社、広告代理店等のメディアに売り込みを行った結果、多数のメディアとのパイプを作ることができた。また、全国に向けて情報発信する目的で石巻カレー全集のプレス発表を東京・銀座で開催した。150 人以上のマンガ関係者やメディア関係者の方々に参加いただき、これをきっかけにさらにネットワークを広げることができた。
- ・平成 26 年 9 月からラジオ石巻で「マンガッタンステーション」(毎週木曜 10:00～10:15) を放送している。石ノ森萬画館の情報や地域の問題を取り上げ、地元の方々にも出演いただく等幅広い情報を提供している。
- ・石ノ森萬画館のワークショップやイベント情報を掲載した「マンガッタン通信」を平成 27 年 4 月から毎月発行し、石巻、女川町、東松島市内の幼稚園、保育所、保育園の 62 か所に配布し、約 5,000 名の児童に直接手渡しされている。
- ・インターネット宿泊予約サイト「じゃらん」とのタイアップ企画として、じゃらんに登録している県内(石巻、松島、仙台、秋保、気仙沼、鳴子など)の宿泊施設 20 軒で石ノ森萬画館観覧付きプランを販売している。
- ・企画展やイベント等の開催ごとにチラシ・ポスターを作成し、マスコミや関連施設、学校等に配布、掲示の依頼をしている。石巻・南三陸・松島・秋保・作並・仙台市内の観光施設や宿泊施設、また近隣のコンビニエンスストアなどに直接訪問して告知のお願いと情報交換を行い、より一層連携を深めるように努めた。
- ・NTT docomo 様とのタイアップしてスマートフォンを使ったスタンプラリーを行った。「さんりくお菓子めぐりスタンプラリー」と称して、気仙沼、登米、南三陸、女川、石巻のお菓子をめぐる企画として 12 月 19 日～3 月 31 日まで行い、20,729 名のアクセスがあった。今回は試験的に開催してみたが、今後このシステムを有効活用していきたい。